

防災クイズ① 【地震・津波編】

Q 1 地震が発生した後に、続けて発生する地震を何といいますか？

- ① 後震
- ② 余震
- ③ 続震



Q 2 地震の揺れの大きさを表すのはどれですか？

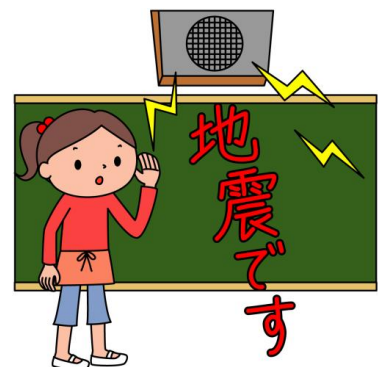
- ① マグニチュード
- ② 震度
- ③ 警報

Q 3 「マグニチュード」は、何を表すものですか？

- ① 地震の大きさ
- ② 地震の被害の大きさ
- ③ 地震の揺れの大きさ

Q 4 「緊急地震速報」について、間違っているのはどれですか？

- ① 地震の発生直後に、緊急にテレビ、ラジオ放送のみで伝えられる情報
- ② 地震の発生直後に、身を守る行動をとるよう促す情報
- ③ 地震の発生直後に、強い揺れが予想されることを知らせる情報



Q5 「津波」の説明で、正しいのはどれですか？

- ① 台風等の強い風で起こる高い波が「津波」である。
- ② 大雨等によって、海面が上がったときの波が「津波」である。
- ③ 海底の地形の変化で起こる波が「津波」である。

Q6 「津波」について、正しいのはどれですか？

- ① 津波は大きな波が一度だけではなく、何度も来ることがある。
- ② 日本近海で発生した大地震の時だけ、津波が襲ってくる。
- ③ 津波は海岸付近では危険であるが、河川付近は危険ではない。

Q7 「津波警報」が発表されるとき、予想される津波の高さはどれぐらいですか？

- ① 5mを超える高さ
- ② 1mを超える高さ
- ③ 30cmを超える高さ

Q8 海水浴（海岸近く）に来ているときに、「津波注意報」が発表されたらどうしますか？

- ① 注意報では小さな津波しか来ないので、そのまま海岸にいても大丈夫である。
- ② 地震発生から津波が来るまで時間があるので、周囲の状況を確認して避難する。
- ③ すぐに高台に避難する。



防災クイズ② 【地震・津波編】

Q1 家にいるときに、大きな揺れを感じて（大地震が発生して）最初にとる行動として、間違っているのはどれですか？

- ① 机の下に隠れる。
- ② とりあえず外に出る。
- ③ 使っていた火を消す。

Q2 Q1の行動をとった後、家に自分以外に誰もいなかったらどうしますか？

- ① 保護者に電話をする。
- ② 大人が助けに来るまで、家でじっとしておく。
- ③ テレビやラジオ等で情報収集し、避難行動を行う。

Q3 外出して屋外にいるときに、大きな揺れを感じて最初にとる行動として、間違っているのはどれですか？

- ① すぐに建物から離れる。
- ② むやみに逃げず、そのままじっと様子を見る。
- ③ かばんなどで頭を守り、広い場所に逃げる。

Q4 海岸にいるときに地震が発生したら、どうしますか？

- ① 急いで海の様子を見に行く。
- ② その場所から離れず、津波注意報、津波警報等の情報を集める。
- ③ すぐに高台や高い建物に避難する。



Q5 電車に乗っているときに地震が発生したら、どうしますか？

- ① 転げないように、手すり、つり革を握る。
- ② すぐに降りられるよう、避難出口に移動する。
- ③ 車内は安全なので、いつもどおりにする。

Q6 エレベーターに乗っているときに地震が発生したら、どうしますか？

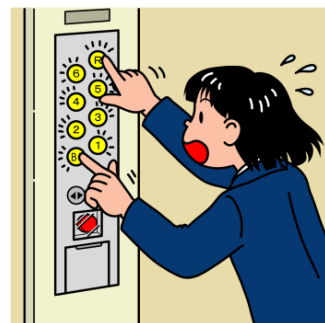
- ① 全ての階のボタンを押す。
- ② 1階のボタンを押す。
- ③ そのままじっとしておく。

Q7 コンビニやスーパーにいるときに地震が発生したら、どうしますか？

- ① すぐに出入り口から外に逃げる。
- ② 保護者が迎えに来るまでその場にいる。
- ③ 頭を守って安全そうなスペースに移動する。

Q8 入浴しているときに地震が発生したら、どうしますか？

- ① ドアを開ける。
- ② 浴槽の水を抜く。
- ③ お風呂の電気を消す。



防災クイズ③ 【台風・高潮編】

Q1 台風は、どの方向に渦を巻いていますか？

- ① 時計回り
- ② 反時計回り
- ③ 台風によって異なる。



Q2 台風が近づくと、どのような危険がありますか？

- ① 海で津波が発生する。
- ② 土砂災害が発生する。
- ③ 火山が噴火する。

Q3 台風が近づいてきたら備えや対策が必要ですが、間違っているのはどれですか？

- ① 断水に備え、お風呂等に水を貯める。
- ② 停電に備え、食料やろうそく等を準備する。
- ③ 外の様子がいつでも確認できるよう、窓を開けておく。

Q4 台風の暴風域では、どのような状況になりますか？

※「暴風域」とは、風速 25m/s 以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲のことです。

- ① 傘がさせなくなる。
- ② 風に向かって歩けなくなる。
- ③ 何かにつかまっていないと立っていられなくなる。

Q5 日頃からできる台風への対策について、間違っているのはどれですか？

- ① 側溝や排水口の掃除をして、水はけをよくしておく。
- ② 家族で、災害時の緊急連絡手段や避難方法等を話し合っておく。
- ③ 日頃から外出や旅行を控えておく。

Q6 台風が近づくと、海水面が異常に上昇します。これを何といいますか？

- ① 高潮
- ② 赤潮
- ③ 津波



Q7 台風などの風によって波が高くなる時に発せられる警報は、何ですか？

- ① 津波警報
- ② 波浪警報
- ③ 高潮警報

Q8 天気予報等と言われる「海がしける」とは、波の高さが何mのときですか？

- ① 4m~6m
- ② 6m~8m
- ③ 8m~10m



防災クイズ④

【大雨・土砂災害編】

Q1 山口県で、「土砂災害」が発生する主な原因は何ですか？

- ① 火山噴火
- ② 地震
- ③ 大雨

Q2 がけ崩れが発生する前触れは、どんな状態ですか？

- ① カラスがさわがしく鳴き始める。
- ② 小石がばらばら落ちてくる。
- ③ 急に天気が良くなる。



Q3 「土砂災害警戒情報」について、正しいのはどれですか？

- ① 大雨が降っている中で、土砂災害の発生の危険が更に高まってきたときに出される情報
- ② 土砂災害が発生したら、人々に危害が生ずると思われる土地に出される情報
- ③ 土砂災害の危険度を、定期的に確認・点検するよう呼びかける情報

Q4 狭い範囲で短い時間に大雨が降ったときに、次の中で最も危険な場所はどこですか？

- ① 小さい川や用水路の近く
- ② 大きな川や大きな建物のそば
- ③ 海の近く



Q5 自分の住んでいる地域に「大雨警報」が発表中ですが、家の近くでは全く雨は降っていません。どのような行動をとることが望ましいですか？

- ① 特に危険性はない。
- ② 川上で大雨になっている可能性があるため、注意は必要である。
- ③ 家は山の近くでないため、気にしない。

Q6 「1時間当たりの雨量が20mm～30mm」とは、どのような状況ですか？

- ① 雨の音で話し声がよく聞こえなくなり、地面に水たまりができる。
- ② 洪水や土砂災害の危険が大きいところでは、避難を始める。
- ③ どしゃぶりで、用水路があふれたり、がけ崩れが発生したりする危険がある。

Q7 「記録的短時間大雨情報」とは、どんな情報ですか？

- ① 現在、数年に1度程度しか発生しないような大雨が降っていることを知らせる情報
- ② これから大雨が降ることが予想されるときに出される情報
- ③ 今までで、最も短時間で大雨が降ったことの記録

Q8 「大雨特別警報」が発表されたら、どうしたらよいですか？

- ① 何はさておき、避難所に避難する。
- ② 災害等が発生していれば、より安全な場所に避難する。
- ③ 災害が発生することを予想して、避難する準備を始める。



防災クイズ⑤ 【火災編】

Q1 火災が発生して最初にとる行動として、間違っているのはどれですか？

- ① 火が小さいときは、一人でもすぐに消火活動を行う。
- ② 大声で「火事だ。」と叫ぶ等、周囲の人に知らせて大勢で消火活動を行う。
- ③ 消防隊が来るまで、火事を見ておく。



Q2 消火器の正しい使用方法是どれですか？

- ① 安全ピンを抜く→ ホースを火元に向ける→ レバーを握る
- ② 消火器をふる→ 安全ピンを抜く→ レバーを握る
- ③ 安全ピンを抜く→ 消火器をふる→ レバーを握る

Q3 火災を発見したら、どの番号に電話をかけますか？

- ① 110番
- ② 118番
- ③ 119番

Q4 住宅内で火災警報器が鳴ったら、どうしますか？

- ① 消防署に連絡がいくので、消防車が来るのを待つておく。
- ② 火元を確認し、避難したあとに119番通報する。
- ③ その場で119番通報し、火災警報器を止める。



Q5 デパート、旅館、ホテル等で火災が発生したときの避難方法として、正しいのはどれですか？

- ① 階段で避難する。
- ② エレベータで避難する。
- ③ その場で待機する。

Q6 火災の煙の広がり方として、正しいのはどれですか？

- ① 煙はまず上に上がってから、横に広がっていく。
- ② 煙はまず下に下がってから、横に広がっていく。
- ③ 煙はまず横に広がってから、上や下に広がっていく。

Q7 火災で煙に巻かれたら、どのように避難しますか？

- ① 煙がなくなるまで、じっとしておく。
- ② 大声で助けを求めながら、全力で走って逃げる。
- ③ 姿勢を低くし、床に近づいて逃げる。

Q8 服に火がついた場合、どのように行動すればよいですか？

- ① 走り回る。
- ② 地面に転がる。
- ③ 消防署に連絡し、じっとしておく。



防災クイズ⑥

【竜巻・雷編】

Q1 竜巻が発生する前触れは、どれですか？

- ① 空が急に明るくなる。
- ② 降り続いた雨が急にやむ。
- ③ 急にひんやりとした冷たい風が吹き出す。

Q2 竜巻が襲ってきたら、どうなりますか？

- ① 空が明るくなり、天気がよくなる。
- ② いろいろな物が、ものすごいスピードで飛んでくる。
- ③ 火山が噴火する。

Q3 「竜巻注意情報」が発表されたら、どのように行動すればよいですか？

- ① 注意情報なので、別に気にしない。
- ② 空の様子に注意し、積乱雲が近づく兆しを感じたら避難する。
- ③ すぐに避難する。

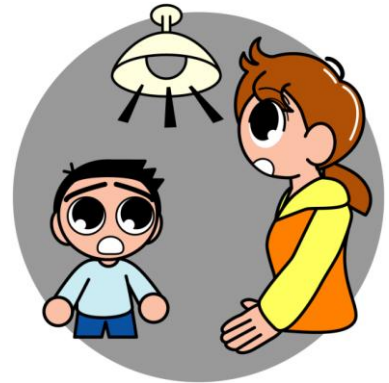
Q4 外で遊んでいるときに（外出しているときに）竜巻が見えたら、どのように行動すればよいですか？

- ① すぐに建物に避難し、窓から離れる。
- ② 外にいて、竜巻の動きを見続ける。
- ③ 建物に避難し、部屋の窓から竜巻の動きを確認する。



Q5 教室で竜巻が見えたときにとる行動として、間違っているのはどれですか？

- ① すぐにグラウンドに避難する。
- ② 教室の机の下に隠れる。
- ③ 机を壁側に移動し、シェルターを設定する。



Q6 どんなときに、雷が発生しますか？

- ① カエルがさわがしく鳴き始めたとき
- ② 晴天が5日以上続いたとき
- ③ 真っ黒い雲が近づいてきたとき

Q7 自宅にいるときに、雷が近くで鳴りました。どのように行動すればよいですか？

- ① 窓から外の様子を確認する。
- ② 電化製品のコンセントを抜く。
- ③ 気にせず、過ごす。

Q8 外にいるときに、雷が鳴りました。雷から身を守るために、どのように動すればよいですか？

- ① 建物や車の中に移動する。
- ② 大きな木の下に移動する。
- ③ 周囲に何もいないところに移動する。



防災クイズ⑦

【防災一般編】

Q1 「特別警報」の説明で、正しいのはどれですか？

- ① 特別な地域で災害が発生しそうなときに出される警報
- ② 特別な時間帯で災害が発生しそうなときに出される警報
- ③ 数十年に一度しかないような非常に危険な災害が発生しそうなときに出される警報

Q2 市や町が作成している「ハザードマップ」とは、どんなものですか？

- ① 市町の観光名所などが表示してある観光地図
- ② 被害想定区域や避難場所等が表示してある地図
- ③ 住民すべての住所が表示してある地図



Q3 災害の被害の危険が予想される時に発表される「避難指示」、
「避難勧告」、「避難準備情報」のうち、危険が一番迫っているのはどれですか？

- ① 避難指示
- ② 避難勧告
- ③ 避難準備情報

Q4 災害時に避難をするときは、どのような服装がよいですか？

- ① おしゃれな外出着
- ② 身軽になるよう薄着
- ③ 長袖の上着や防災ずきんを着用



Q5 避難するときの履き物は、どれがよいですか？

- ① はき慣れた運動靴（スニーカー）
- ② 脱いだり履いたりすることが簡単なサンダル
- ③ 早く逃げるために、裸足でよい。

Q6 災害が発生したときに、お互いの安否を確認する際に活用できる「災害用伝言ダイヤル」の番号はどれですか？

- ① 119番
- ② 171番
- ③ 177番



Q7 非常持ち出し品を入れるのに、一番よい入れ物はどれですか？

- ① 物がたくさん入るスーツケース
- ② 持ち運びに軽いビニール袋
- ③ 背中に背負うことができるリュックサック

Q8 避難するとき心がける約束事は、その頭文字をとって、何と
いいますか？

- ① いかのおすし
- ② おはしも
- ③ さしすせそ



解答① 【地震・津波編】

Q1 地震が発生した後に、続けて発生する地震を何といいますか？

答え：② 余震

- 「余震」とは、大きな地震の後に、その近くで発生する多数の地震です。大きな地震が発生すると、建物が傾いたり土砂災害が発生しやすくなったりしています。その後に発生する余震も普段以上に被害が生じやすくなっているのので、注意が必要です。最初の大きな地震を、「本震」といいます。

Q2 地震の揺れの大きさを表すのは、どれですか？

答え：② 震度

- 震度（しんど）は地震の揺れの大きさを表します。震度は、一般的には震源地（しんげんち）からの距離や地盤の固さに影響を受けます（震源地から近い所では大きくなります。）。平成8年4月から、計測震度計により観測しています（それまでは、体感と周囲の状況から推測していました。）。

Q3 「マグニチュード」は、何を表すものですか？

答え：① 地震の大きさ

- マグニチュードは地震そのものの大きさを表す単位です。数値が大きいほど大規模であり、一般的に、日本ではマグニチュード7以上の地震が大地震とよく呼ばれています。

Q4 「緊急地震速報」について、間違っているのはどれですか？

答え：① 地震の発生直後に、緊急にテレビ、ラジオ放送のみで伝えられる情報

- 「緊急地震速報」は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、直ちに知らせる情報のことで、テレビ、ラジオ、防災行政無線等で放送されたり、携帯電話等でも受信できたりします。強い揺れの前に、自らの身を守ったり、列車のスピードを落としたり、あるいは工場等で機械制御を行うなどの活用がされています。震源から遠い場所では、緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが届くまでに時間がかかるので、揺れが来なくても見聞きしてから1分程度は、身を守るなど警戒をします。



Q5 「津波」の説明で、正しいのはどれですか？

答え：③ 海底の地形の変化で起こる波が「津波」である。

- 「津波」は、海底の地形変動（地震）によって発生します。特徴は、波の長さが普通の波に比べてとても長く、数km～数百kmあります。海域で吹いている風によって生じる波浪は海面付近の現象で、波長は数m～数百m程度です。
「波長」・・・波の山から山、又は谷から谷の長さ

Q6 「津波」について、正しいのはどれですか？

答え：① 津波は、大きな波が一度だけではなく、何度も来ることがある。

- 津波は、1回の波で終わらないで、何度も繰り返し波が来ます。また、初めの波が小さくても、次の波が大きくなることもあるので注意が必要です。津波は、河川をさかのぼってきますので、河川等が氾濫する危険があります。河川にも近づいてはいけません。日本の反対側にあるチリで発生した地震（1960年チリ地震）では、日本を大きな津波が襲い、被害をもたらしました。

Q7 「津波警報」が発表されるとき、予想される津波の高さはどれぐらいですか？

答え：② 1mを超える高さ

- 「大津波警報」「津波警報」が発表されれば、沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難します。「津波注意報」が発表されれば、海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れます。

「大津波警報」	・・・予想される津波の高さが高いところで3mを超える。
「津波警報」	・・・予想される津波の高さが高いところで1mを超える。
「津波注意報」	・・・予想される津波の高さが高いところで0.2m～1m以内である。

Q8 海水浴（海岸近く）に来ているときに、「津波注意報」が発表されたらどうしますか？

答え：③ すぐに高台に避難する。

- 津波を確認してから走って避難しても、津波には追いつかれます。また、船やがれき等が流れてきますので危険です。よって、注意報が発表されれば、ただちに海岸から離れて高台に避難します。津波の到達時間は、震源からの距離と海底地形等でそれぞれ違います。

解答② 【地震・津波編】

Q1 家にいるときに、大きな揺れを感じて（大地震が発生して）最初にとる行動として、間違っているのはどれですか？

答え：② とりあえず外に出る。

- まず、机の下に隠れたり、頭を守ったりして身の安全を確保します。火を使っているときは、火災の発生を防ぐため消しますが、揺れが大きいときは、やけどの危険もあるので、揺れが収まってから消火する等、状況判断が必要です。また、避難経路を確保するため、ドアや窓を開けることもあります。ガラスが割れてけがをする危険もありますので、気を付けましょう。

Q2 Q1の行動をとった後、家に自分以外に誰もいなかったらどうしますか？

答え：③ テレビやラジオ等で情報収集し、避難行動を行う。

- Q1の最初にとる行動の後、揺れが収まったら情報収集等を行って、適切な避難行動を行います。保護者や周囲の人に頼ることなく、自分自身で状況を判断して適切な行動がとれるよう、日頃から家族で災害時の行動を話し合ったり、学校で災害についての知識を身に付けたり、地域の防災訓練に参加しておくことが必要です。

Q3 外出して屋外にいるときに、大きな揺れを感じて最初にとる行動として、間違っているのはどれですか？

答え：② むやみに逃げず、そのままじっと様子を見る。

- 屋外にいるとき、建物の看板や窓ガラスの破片、ベランダに置いてあるプランター等が落ちてくる危険がありますので、建物や塀から離れます。また、交通量の多い道路では、車が突っ込んでくることもあります。頭を守って、広い場所に逃げます。

Q4 海岸にいるときに地震が発生したら、どうしますか？

答え：③ すぐに高台や高い建物に避難する。

- 津波が来るおそれがあるので、すぐに高い場所に避難します。避難したあとは、ラジオやインターネット等で情報を収集し、適切な行動をとります。

Q5 電車に乗っているときに地震が発生したら、どうしますか？

答え：① 手すり、つり革を握る。

- 緊急に停車することがあるので、立っているときは、手すりやつり革をしっかり握って転倒を防ぎます。椅子に座っているときは、低い姿勢をとって頭部をかばん等で保護します。

Q6 エレベーターに乗っているときに地震が発生したら、どうしますか？

答え：① 全ての階のボタンを押す。

- エレベーター内に閉じ込められないように、全ての階のボタンを押し、最初に止まった階ですぐにエレベーターから降ります。

Q7 コンビニやスーパーにいるときに地震が発生したら、どうしますか？

答え：③ 頭を守って安全そうなスペースに移動する。

- 店内では、商品の棚が倒れてきたり、照明器具が落下してきたりして危険です。カバン等で頭を守って、安全な場所に移動します。ただ、慌てて出入り口に向かうと、混雑して危険なこと（周囲の人とぶつかる、こける等）もあります。非常口から避難したり、店員の指示に従ったりするなど、落ち着いて避難行動します。

Q8 入浴しているときに地震が発生したら、どうしますか？

答え：① ドアを開ける。

- 棚に置いている物が落ちてきたり、鏡が落ちて割れたりして危険です。頭を守り、座るか低い姿勢をとります。立っていると滑って危険です。身の安全が確保できたら、閉じ込められないよう、ドアを開けて避難経路を確保します。裸足で避難することになるので、足下に十分気を付けます。浴槽のお湯は、水道が止まることがあるので、流さず貯めておきます。



解答③ 【台風・高潮編】

Q1 台風は、どの方向に渦を巻いていますか？

答え：② 反時計回り

- 台風は、反時計回りに渦を巻いて進むので、台風の進行方向に向かって右側が、より風が強くなり被害が大きくなります。

Q2 台風が近づくと、どのような危険がありますか？

答え：② 土砂災害が発生する。

- 台風が近づくと、大量の雨が降り、土砂崩れや、河川の氾濫等が発生することがあります。土砂災害が発生すれば、家や田畑が壊されたり、道路が通行止めになったりします。また、河川が氾濫すれば、多くの家や道路が浸水します。

Q3 台風が近づいてきたら備えや対策が必要ですが、間違っているのはどれですか？

答え：③ 外の様子がいつでも確認できるよう、窓を開けておく。

- 断水に備え、飲料水やトイレなどの生活用水を確保するため、浴槽などに水を貯めます。塩害による長期停電のため、懐中電灯やろうそく等の準備や、冷蔵庫の物などが腐る恐れもあるので、水や食料品も備えておきます。また、強い風が吹くと、風や物干しざおなどの物が飛んできて窓ガラスが割れることがあります。雨戸やカーテンを閉めたり、ガムテープで補強したりして対策をします。また、外に出している植木鉢等の物を屋内に取り込むことも必要です。テレビのアンテナや庭木に支柱をして補強することも必要です。

Q4 台風の暴風域では、どのような状況になりますか？

※「暴風域」とは、風速 25m/s 以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲のことです。

答え：③ 何かにつかまっていないと立ってられなくなる。

- 「秒速 25m」とは「時速 90km」です。この速さは、高速道路を走っている車と同じ速さです。何かにつかまっていないと立ってられないし、飛んできた物があたって負傷することもあります。



Q5 日頃からできる台風への対策について、間違っているのはどれですか？

答え：③ 日頃から外出や旅行を控えておく。

→ 側溝や排水口にゴミや泥があると、水がたまってしまい、道路に水があふれてしまいます。また、日頃から、家族で災害時の連絡方法や家族が落ちあう場所等を話し合ったり、地域の危険な場所をハザードマップ等で確認したりしておく必要があります。災害時には、避難行動や救助、避難所生活等で地域の人々と力を合わせて取り組むことが大切ですので、日頃から地域の人々とコミュニケーションをしっかりとっておくことも必要です。

Q6 台風が近づくと、海水面が異常に上昇します。これを何といいますか？

答え：① 高潮

→ 高潮は、台風や発達した低気圧などに伴い、気圧が下がり海面が吸い上げられたり、強風で海水が海岸に吹き寄せられたりして、海面が異常に上昇する現象です。台風や発達した低気圧の接近、上陸に伴って短時間のうちに急激に潮位が上昇し、海水が海岸堤防等を越えると一気に浸水します。また高波が加わるとさらに浸水の危険が増します。台風が接近すると、暴風、激しい雨、波しぶきで避難所へ移動することが困難になりますので、台風情報や高潮警報を確認し、安全に行動できるうちに避難することが大切です。津波は、海底下で発生した地震により、海水全体が持ち上がったたり下がったりすることによってできる波です。

Q7 台風などの風によって波が高くなるときに発表される警報は、何ですか？

答え：② 波浪警報

→ 海上で台風等の風により波が発生・発達します。その場所で吹いている風によってできる波を「風浪」といい、個々の波は不規則で波面がとがっています。また、遠くの台風で作られた波が伝わってきたものを「うねり」といい、波面が滑らかで規則的な波長をもっています。これら二つを合わせて「波浪」といい、これにより重大な災害が起こるおそれのある時に波浪警報が発表されます。

Q8 天気予報等と言われる「海がしける」とは、波の高さが何mのときですか？

答え：① 4m～6m

→ 強風のため海上が荒れることを一般的に「しけ」と言います。天気予報用語では波の高さが4mを超えるときを「しけ」と言います。また、6m～9mを「大しけ」、9mを超えるときを「猛烈にしける」と表現します。

解答④ 【大雨・土砂災害編】

Q1 山口県で、「土砂災害」が発生する主な原因は何ですか？

答え：③ 大雨

- 土砂災害の多くは、大雨などのたくさんの水によって地盤がゆるむことが大きな原因で発生します。1時間に20mm以上、又は降り始めてから100mm以上の雨量になったら土砂災害が発生する危険があります（ただ、先行降雨などで地盤が緩んでいる場合は、少ない雨量でも土砂災害は発生します。）。土砂災害は、「がけ崩れ」、「土石流」、「地すべり」の三つに大きく分けられます。土砂災害には、前触れが見られることが多いので、前触れを見つけたら、周囲の大人や消防、警察等に知らせて、ただちに避難します。

Q2 がけ崩れが発生する前触れは、どんな状態ですか？

答え：② 小石がばらばら落ちてくる。

がけ崩れ (前触れ)	雨で地中にしみこんだ水分が土の抵抗力を弱め、斜面が突然崩れ落ちるもの 「がけからの水が濁る。」、「がけに亀裂が入る。」、「小石がばらばら落ちてくる。」等
土石流 (前触れ)	大量の土・石・砂などが、集中豪雨などの大量の水と混じり合っ て、津波のように流れ出てくるもの 山鳴りや立木の避ける音、石のぶつかりあう音が聞こえる。川の水が急に濁り、流木がまじりはじめる。
地すべり (前触れ)	粘土などのすべりやすい層を境に、その地面全体がズルズル動き出すもの 「地面にひび割れができる。」、「斜面から水が噴き出す。」、「家や壁に亀裂が入る。」等

Q3 「土砂災害警戒情報」について、正しいのはどれですか？

答え：① 大雨が降っている中で、土砂災害の発生の危険が更に高まってきたときに出される情報

- 大雨警報が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度が更に高まったときに、気象庁等から発表されます。自分の住んでいる市町に、「土砂災害警戒情報」が発表されたら、土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域等に住んでいる人は、詳しい情報収集を行うとともに、早めの避難が必要です。

Q4 狭い範囲で短い時間に大雨が降ったときに、次の中で最も危険な場所はどこですか？

答え：① 小さい川や用水路の近く

- 小さい川や用水路などは、大きな河川と違って水位の上昇がとても速く、氾濫するまでの時間が短いため、警報や自治体からの避難指示が間にあわないこともあります。

Q5 自分の住んでいる地域に「大雨警報」が発表中ですが、家の近くでは全く雨は降っていません。どのような行動をとることが望ましいですか？

答え：② 川上で大雨になっている可能性があるため、注意は必要である。

→ 川上で大雨が降っていたら急に増水して危険です。今後、大雨になる危険性もあるので、ニュースやネット等で雨の状況等、情報収集をしておきます。

Q6 「1時間当たりの雨量が20mm～30mm」とは、どのような状況ですか？

答え：③ どしゃぶりで、用水路があふれたり、がけ崩れが発生したりする危険がある。

< 1時間当たりの雨量 >

10mm～20mm	[やや強い雨]	ザーザー降る雨
		地面からの跳ね返りで足下が濡れる。雨音で話が聞こえないことがある。
20mm～30mm	[強い雨]	どしゃ降り
		傘をさしても濡れる。小さい川等が氾濫する。
30mm～50mm	[激しい雨]	
		バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。
50mm～80mm	[非常に激しい雨]	滝のように降る雨
		車の運転は危険。土石流がおこりやすい。
80mm～	[猛烈な雨]	
		恐怖を感じる。大規模災害の発生する恐れがある。

参考：http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_ura.png

Q7 「記録的短時間大雨情報」とは、どんな情報ですか？

答え：① 現在、数年に1度程度しか発生しないような大雨が降っていることを知らせる情報

→ 「記録的短時間大雨情報」は、「大雨警報」が出されているときに、短時間に猛烈な大雨を観測した場合に出されます。この情報が発表されたときは、避難情報に留意し、早めに避難に心がけます。山口県では、1時間に100mm以上の雨を観測したときに発表されます。

Q8 「大雨特別警報」が発表されたら、どうしたらよいですか？

答え：② 災害等が発生していれば、より安全な場所に避難する。

→ 数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、重大な災害が発生する心配がとて高い場合に発表されます。特別警報が発表されれば、ただちに命を守る行動をとらなくてはなりません。避難場所等への避難が遅れ、危険が伴う場合は無理して避難場所に移動せず、自宅や隣接建物の2階などへ避難（垂直避難）します。



解答⑤ 【火災編】

Q1 火災が発生して最初にとる行動として、間違っているのはどれですか？

答え：③ 消防隊が来るまで、火事を見ておく。

- 火が小さいときは、水をかけたり、消火器を使ったりして消火活動を行います。しかし、一人だけの消火活動にこだわらず、周囲に火災を知らせ、大勢で協力して消火活動を行います。火災が発生すれば、自分ができることを行うことが大切です。

Q2 消火器の正しい使用方法是どれですか？

答え：① 安全ピンを抜く→ ホースを火元に向ける
→ レバーを握る



- 火災のときは、誰でも慌てますので、日頃から消火器の使用方法や消火訓練等を行う必要があります。また、消火器は初期消火に使うものなので、炎が天井に届いたり、天井に燃え移ったりしたときは、消火はできないと判断し、消火活動を中止して避難します。

Q3 火災を発見したら、どの番号に電話をかけますか？

答え：③ 119番

- 119番は、火災が発生し消防車を呼びたいときや、救急車を呼びたいときの緊急通報電話番号です。110番は、警察通報電話で事件・事故を見かけた時に警察に連絡する電話番号です。118番は、海上での事件・事故の緊急通報用電話番号です。

Q4 住宅内で火災警報器が鳴ったら、どうしますか？

答え：② 火元を確認し、避難したあと119番通報する。

- 火元を確認し、火災が発生していたら、まず安全に避難します。大声で火事であることを周囲に知らせるとともに、安全な場所から119番通報します。初期消火が可能なときは消火活動を行います。危険を感じたらただちに避難します。初期消火の限界は天井に火が燃え移るまでです。天井に燃え移りそうになったらすぐに避難します。

Q5 デパート、旅館、ホテル等で火災が発生したときの避難方法として、正しいのはどれですか？

答え：① 階段で避難する。

- 非常階段等を利用して避難します。デパートや、旅館、ホテル等に行ったときは、まず非常口や避難経路を確認しておくことが大切です。また、パニックが起こることも予想されるので、落ち着いて行動し、従業員等の情報や指示も、しっかり聞くように心がけます。

Q6 火災の煙の広がり方として、正しいのはどれですか？

答え：① 煙はまず上に上がってから、横に広がっていく。

- 火災によって発生した煙は、その熱によって空気より軽くなり、まず上昇を始めます。その後、天井などに突き当たると今度は横方向に広がります。煙は、上には1秒間に3～5m進み、横には1秒間に0.5m～1m進みます。横方向には人間の歩く速度と同じスピードで進みますが、上方向にはそれよりずっと早く進みます。

Q7 火災で煙に巻かれたら、どのように避難しますか？

答え：③ 姿勢を低くし、床に近づいて逃げる。

- 床に近いところは煙が薄いので、できるだけ低い姿勢で逃げます。そのとき、ハンカチやぬれタオル等で口をふさぎ、煙を吸わないようにします。煙には、有毒ガス（一酸化炭素）を多く含んでいるため、吸い込むと危険です。

Q8 服に火がついた場合、どのように行動すればよいですか？

答え：② 地面に転がる。

- 走り回って火を消そうとしても、火は逆に拡大します。水をかけて消火するか、腹や背中であれば転げ回って消火するか、消火器で消火します。



解答⑥ 【竜巻・雷編】

Q1 竜巻が発生する前触れは、どれですか？

答え：③ 急にひんやりとした冷たい風が吹き出す。

- 竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きです。積乱雲が接近すると、低く黒い雲が近づき周囲が暗くなったり、雷鳴や雷光が見えたり、急に冷たい風が吹いたりします。短時間で狭い範囲に集中して猛烈な風が吹き、大きな被害をもたらします。

Q2 竜巻が襲ってきたら、どうなりますか？

答え：② いろいろな物が、ものすごいスピードで飛んでくる。

- 竜巻が近づくと、猛烈な風が吹き、いろいろな物が飛ばされます。飛んできた物が壁に突き刺さったり、窓ガラスが割れたりします。建物が壊されたり、車がひっくり返ることもあります。

Q3 「竜巻注意情報」が発表されたら、どのように行動すればよいですか？

答え：② 空の様子に注意し、積乱雲が近づく兆しを感じたら避難する。

- 空の様子をみて、黒い雲が近づき周囲が急に暗くなったり、冷たい風が吹いたり、大粒の雨や「ひょう」が降り出したりすると、発達した積乱雲が近づく兆しです。ただちに頑丈な建物内の安全な場所に逃げる等、身の安全を確保します。特に、竜巻注意情報が発表されてから約1時間は注意が必要です。

Q4 外で遊んでいるときに（外出しているときに）竜巻が見えたら、どのように行動すればよいですか？

答え：① すぐに建物に避難し、窓から離れる。

- 物が飛んできて、窓や壁を突き破ってくる危険があるので、頑丈な建物に避難し、建物の一階で中心部に近い部屋に移動し、机の下等の丈夫な物の陰に入り、両腕で頭と首を守ります。窓ガラスが割れて危険ですから、窓ガラスに近づかないようにします。



Q5 教室で竜巻が見えたときにとる行動として、間違っているのはどれですか？

答え：① すぐにグラウンドに避難する。

- 机を集め、シェルターをつくります。窓ガラスが割れて被害が出ることを予防するため、窓にカギをかけてカーテンを閉めます。カバン等で頭、首を守り、床に座って竜巻の接近に備えます。

Q6 どんなときに、雷が発生しますか？

答え：③ 真っ黒い雲が近づいてきたとき

- 雷雨やにわか雨は、積乱雲が発達して起こります。発達した積乱雲が近づいてきたら、黒い雲が近づき周囲が暗くなったり、雷の音が聞こえてきたり、急に冷たい風が吹いてきたりします。

Q7 自宅にいるときに、雷が近くで鳴りました。どのように行動すればよいですか？

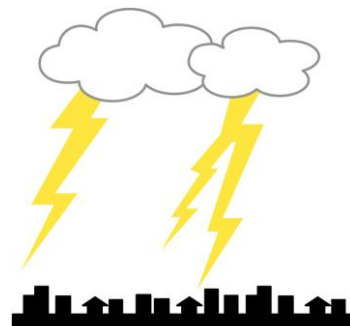
答え：② 電化製品のコンセントを抜く。

- 電気は壁を伝わってくるので、壁や窓の近くは感電する可能性があります。窓はしっかりと閉めて、壁や天井から1 m以上離れます。また、テレビのアンテナや電線などから雷の電流が入ってくることもあるので、テレビやパソコンなどのコンセントをできるだけ抜いて、電化製品から2 m以上離れます。

Q8 外にいるときに、雷が鳴りました。雷から身を守るために、どのように行動すればよいですか？

答え：① 建物や車の中に移動する。

- できるだけ頑丈な建物の中に避難するようにします。周囲に建物がない場合は、車や電車に避難するのが安全です。木や電柱の近くは危険です。少なくとも木や電柱から4 m以上は離れます。建物や車、電車等が近くにないときは、姿勢を低くします。また、海水浴に行っているときは、雷が鳴ったら海からすぐに上がります。水は電気を通すので、雷が海に落ちた場合、海に入っていると感電することがあるからです。



解答⑦ 【防災一般編】

Q1 「特別警報」の説明で、正しいのはどれですか？

答え：③ 数十年に一度しかないような非常に危険な災害が発生し
そうなときに出される警報

→ 平成25年8月30日から運用が始まりました。特別警報が出た場合、その地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や市町から発表される「避難指示・避難勧告」などの情報により、ただちに命を守るための行動をとります。

Q2 市や町が作成している「ハザードマップ」とは、どんなものですか？

答え：② 被害想定区域や避難場所等が表示してある地図

→ 「ハザードマップ」は、自然災害による被害を予測し、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などが表示してある地図です。災害時の適切な避難で活用したり、二次災害等を軽減するのにとても有効です。

Q3 災害の被害の危険が予想されるときに発表される「避難指示」、「避難勧告」、「避難準備情報」のうち、危険が一番迫っているのはどれですか？

答え：① 避難指示

避難指示

被害の危険が切迫したときに発せられるもので、「勧告」より拘束力が強くなります。ただし、指示に従わなかった人に対して、強制までは行いません。

避難勧告

居住者に立ち退きを勧め促すものです。避難を強制するものではありません。

避難準備情報

事態の推移によっては避難勧告や避難指示を行うことが予想されるため、避難の準備を呼びかけるものです。

Q4 災害時に避難をするときは、どのような服装がよいですか？

答え：③ 長袖の上着や防災ずきんを着用

→ 頭を保護するものを着用し、長袖・長ズボンで避難します（安全第一ですので、災害状況で変わります。）。

Q5 避難するときの履き物は、どれがよいですか？

答え：① はき慣れた運動靴（スニーカー）

- 裸足やサンダルだと、ガラスや破片やがれき等でのけが、やけど等の危険があります。また、長靴だと、水が入ったとき動きにくくなりますので、はき慣れた運動靴（スニーカー）で避難します。

Q6 災害が発生したときに、お互いの安否を確認する際に活用できる「災害用伝言ダイヤル」の番号はどれですか？

答え：② 171番

- 災害用伝言ダイヤルは、地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。171番は「忘れていない(171)」と覚えておきます。



Q7 非常持ち出し品を入れるのに、一番よい入れ物はどれですか？

答え：③ 背中に背負うことができるリュックサック

- 非常持ち出し品は、必要最小限のものを準備します。避難するときは、動きやすいよう、また両手が使えるように背中に背負うことができるリュックサックが望ましいです。

Q8 避難するとき心がける約束事は、その頭文字をとって、何といいますか？

答え：② おはしも

- 「おはしも」は、お「押さない」、は「走らない」、し「しゃべらない」、も「戻らない」の頭文字をとったものです。いざという時に、焦らず冷静に行動・判断ができるよう、日頃から災害に対する備えをしておきます。
「いかのおすし」は、子どもを犯罪被害に巻き込まれないための防犯標語で、いか「行かない」、の「乗らない」、お「大声で叫ぶ」、す「すぐ逃げる」
し「知らせる」の頭文字をとったものです。

防災クイズ⑧ 【地震編】

Q1 地震はどうして発生するのですか？

- ① 地球を覆うプレートが動いていく（ずれていく）から。
- ② ナマズが暴れたから。
- ③ 世界のどこかで、自然破壊がおきているから。



Q2 震度は地震の揺れの大きさを表します。地震が発生したとき、「震度」を決定しているのはどこですか？

- ① 気象庁
- ② 警察庁
- ③ 消防庁

Q3 「震度」は、日本では何段階に分けてありますか？

- ① 8段階
- ② 10段階
- ③ 12段階

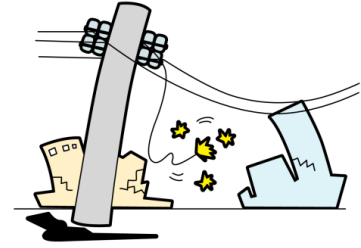
Q4 「震度0」とは、どのような地震の揺れのことですか？
※「震度」とは、地震の揺れの大きさを表すものです。

- ① 人は揺れを感じず、地震計にも記録されない地震の揺れのこと。
- ② 人は揺れを感じないが、地震計に記録される地震の揺れのこと。
- ③ 一部の人は揺れを感じ、地震計にも記録される地震の揺れのこと。



Q5 「緊急地震速報」は、震度がいくつ以上の地震が予想されたときに発表されますか？

- ① 震度3以上
- ② 震度4以上
- ③ 震度5弱以上



Q6 地震には、「活断層型」と「海溝型」の二つのタイプがあります。「阪神・淡路大震災」と「東日本大震災」は、どのタイプですか？

- ① 「阪神・淡路大震災」は「活断層型」、「東日本大震災」は「海溝型」の地震
- ② 「阪神・淡路大震災」は「海溝型」、「東日本大震災」は「活断層型」の地震
- ③ どちらも「海溝型」の地震

Q7 「マグニチュード」が1増えた場合、地震波のエネルギーは約何倍になりますか？

- ① 約2倍
- ② 約32倍
- ③ 約52倍

Q8 世界で最も深い「海溝（海洋プレートが沈み込んでいる場所）」は、何海溝ですか？

- ① 日本海溝
- ② フィリピン海溝
- ③ マリアナ海溝



防災クイズ⑨ 【台風・高潮編】

Q 1 台風と呼ばれるのは、最大風速がおよそ秒速何m以上の熱帯低気圧のことですか？

- ① 秒速 15m以上
- ② 秒速 17m以上
- ③ 秒速 20m以上

Q 2 台風の目について、正しいのはどれですか？

- ① 台風の目の中は、風や雨が穏やかなことがある。
- ② 台風の中心なので、猛烈な風が吹いている。
- ③ 台風の風は台風の目から吹いている。

Q 3 天気予報のニュース等で聞く「猛烈な風」とは、秒速何mの風のことですか？

- ① 秒速 15m～秒速 20m
- ② 秒速 20m～秒速 30m
- ③ 秒速 30m以上



Q 4 天気予報のニュース等で聞く「超大型（非常に大きい）の台風」とは、どんな台風ですか？

- ① 強風域（風速 15m/s 以上）の半径が約 200 k m～約 500 k mの台風
- ② 強風域（風速 15m/s 以上）の半径が約 500 k m～約 800 k mの台風
- ③ 強風域（風速 15m/s 以上）の半径が約 800 k m以上の台風

Q5 台風の説明で、正しいのはどれですか？

- ① 台風が最も発生する海域は、赤道付近～北緯20度である。
- ② 台風は前線を伴っている。
- ③ 台風の影響で雪が降ることもある。

Q6 台風の名前は、どのようにして付けるのですか？

- ① 台風の発生を最初に発見した国
- ② 台風が発生した場所に一番近い国
- ③ あらかじめ決まっている。

Q7 台風が日本列島に上陸しなかった年がありますか？

- ① 毎年、必ず台風は上陸している。
- ② 2000年は台風が上陸しなかった。
- ③ 過去（1950年以降）、台風が上陸しなかった年が10回ある。

Q8 1年を通じて高潮が発生しやすい時期は、いつですか？

- ① 3月
- ② 6月
- ③ 9月



防災クイズ⑩

【避難行動編】

Q1 非常用備蓄品は、最低何日分用意しておけばよいですか？

- ① 1日分
- ② 3日分
- ③ 10日分

Q2 一人の人間が一日に必要な飲料水は、どれぐらいの量ですか？

- ① 3L
- ② 7L
- ③ 10L



Q3 山中にいるときに地震が発生したら、どうしますか？

- ① 少しでも高いところに登る。
- ② 急いで山から降りる。
- ③ 急な斜面から離れるよう横に移動する。

Q4 歩道橋を歩いているときに地震が発生したら、どうしますか？

- ① 急いで降りる。
- ② 歩道橋は頑丈なので、普段どおり渡る。
- ③ その場に座って手すりや柵をつかみ、揺れが収まってから降りる。



Q5 車に乗っているときに地震が発生したら、どうしますか？

- ① ゆっくり目的地まで、車に乗っていく。
- ② 歩いて避難している人を乗せる。
- ③ 車を左側に止めて、情報収集を行う。



Q6 地下街にいるときに地震が発生したら、どうしますか？

- ① 慌てて動かず、落ち着いて様子を見る。
- ② 急いで地上に出る。
- ③ まず 119 番に通報して、消防車を要請する。

Q7 大地震が発生したときは、安全な場所に避難することが大切です。次の中で、一番安全な避難場所はどこですか？

- ① ガソリンスタンド
- ② 海岸
- ③ コンビニエンスストア

Q8 「東日本大震災」のとき、連絡がとりやすかった通信手段はどれですか？

- ① 固定電話
- ② 電子メール
- ③ 携帯電話



防災クイズ⑪

【防災一般編】

Q1 山口県内の土砂災害警戒区域は、全国的に見て多いですか？

- ① 多い
- ② 少ない
- ③ 同じくらい

Q2 土石流は、大量の土・石・砂などが長雨や集中豪雨などの大量の水と混じり合って、ものすごい勢いで流れてくるものです。土石流は、どのくらいのスピードで流れてきますか？

- ① 歩く速度
- ② 走る速度
- ③ 車の速度



Q3 砂防ダム役割は何ですか？

- ① 土石流から町を守る。
- ② 雨水をためる。
- ③ 発電する。

Q4 「南海トラフ」を震源とする巨大地震が発生したとき、山口県にどのような影響があると想定されていますか？

- ① 全く影響はない。
- ② 最大震度3、津波なし。
- ③ 最大震度6強、3.8mの津波あり。

Q5 陸に上がった津波の速さは、どれくらいですか？

- ① 1秒間に約3m進む。
- ② 1秒間に約10m進む。
- ③ 1秒間に約50m進む。

Q6 「竜巻」について、正しいのはどれですか？

- ① 積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい渦巻
- ② 竜巻は、台風の種類
- ③ 竜巻は夏に発生する現象のこと

Q7 気象庁は、「竜巻注意情報」を竜巻発生の可能性の高い何時間前に発表しますか？

- ① 約5～6時間前
- ② 約2～3時間前
- ③ 約0～1時間前

Q8 日本での竜巻の発生は、年間どれくらいですか？

- ① 約5件
- ② 約25件
- ③ 約50件



防災クイズ⑫

【防災一般編】

Q1 「防災の日」は、何月何日ですか？

- ① 1月17日
- ② 3月11日
- ③ 9月1日



Q2 「ライフライン」とは、どういう意味ですか？

- ① 水や食料などの備蓄食
- ② 電気、ガス、水道など、生活するのに不可欠なもの
- ③ 事故やケガに備える救命道具

Q3 「阪神・淡路大震災」の発生から1か月間、被災地で活動したボランティアの人数は、1日当たり約何人だったでしょうか？

- ① 約5千人
- ② 約1万人
- ③ 約2万人

Q4 阪神・大震災では、3万人以上の人々が、がれきの下などから救助されました。その中で、家族や地域の人々の協力によって救助された人は、何人いますか？

- ① 約9千人
- ② 約1万5千人
- ③ 約2万4千人



Q5 消防署の地図記号は、どれですか？

- ① Y
- ② ⊗
- ③ ⊕



Q6 火災に巻き込まれたとき、ビニール袋はどのように使えばよいですか？

- ① 膨らませて頭にかぶり、頭を守る。
- ② バケツ代わりにして、水を入れて火にかけて消火する。
- ③ 煙の中ではビニール内で呼吸する。

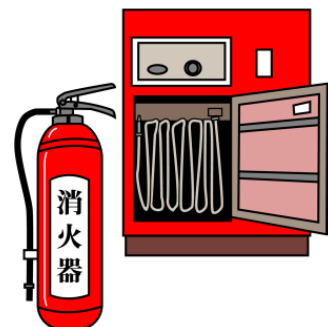
Q7 消火器がないときに天ぷら油の火を消す方法として、間違っているのはどれですか？

- ① 水をかける。
- ② 鍋のふたをかぶせる。
- ③ 砂をかける。



Q8 消火器の使用期限は、一般的に何年ですか？

- ① 3年
- ② 5年
- ③ 7年



解答⑧ 【地震編】

Q1 地震はどうして発生するのですか？

答え：① 地球を覆うプレートが動いていく（ずれていく）から。

- 地球の表面は、厚さが70～100 kmの10数枚のプレート(岩石層)で覆われています。このプレートには、大陸プレートや海洋プレートがあり、大陸や海をのせてゆっくり動いています。このプレートは年に数センチずつ動いてぶつかりあい、そのゆがみがたまります。そのとき、プレートが元に戻ろうとしてはね返り、地震が発生します。これを海溝型地震といいます。また、こうしたゆがみが日本列島の地下に伝わって、活断層がずれを起こすときも地震が発生します。これを活断層型地震といいます。

Q2 震度は地震の揺れの大きさを表します。地震が発生したとき、「震度」を決定しているのはどこですか？

答え：① 気象庁

- 気象庁は、国土交通省の外局で、主に、気象、地象、海象に関する仕事をしています。

Q3 「震度」は、日本では何段階に分けてありますか？

答え：② 10段階

- 震度0から震度7までの階級に分かれています。ただし、震度5と震度6は、「弱」「強」があります。

震度0	震度1	震度2	震度3	震度4
震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7

Q4 「震度0」とは、どのような地震の揺れのことですか？

※「震度」とは、地震の揺れの大きさを表すものです。

答え：② 人は揺れを感じないが、地震計に記録される地震の揺れのこと。

- 「震度0」の揺れは、人は揺れを感じませんが、地震計には記録されます。「震度1」の揺れは、屋内において、人が感じるか感じないかという、わずかな揺れのことです。



Q5 「緊急地震速報」は、震度がいくつ以上の地震が予想されたときに発表されますか？

答え：③ 震度5弱以上

→ 最大震度5弱以上になると、大きな被害が出始めるので、事前に身構える必要があります（震度5弱では、棚にある食器棚や本が落ち始めます。）。

Q6 地震には、「活断層型」と「海溝型」の二つのタイプがあります。「阪神・淡路大震災」と「東日本大震災」は、どのタイプですか？

答え：① 「阪神・淡路大震災」は「活断層型」、「東日本大震災」は「海溝型」の地震

活断層型

海側のプレートの圧迫によって内陸部の活断層がずれて起こる地震です。日本には、活断層は約2,000個あるともいわれています（記述：地震調査研究推進本部）阪神・淡路大震災や、新潟県中越地震も活断層型です。

海溝型

海側のプレートが陸側のプレートの下に沈み込み、陸側のプレートを地底に押し込んでいき、そのゆがみが限界に達すると陸側のプレートが跳ね上がって起こる地震です。このとき、海水も急激に押し上げられるので、津波が発生します。

Q7 「マグニチュード」が1増えた場合、地震波のエネルギーは約何倍になりますか？

答え：② 約32倍

→ マグニチュードが1増えれば、地震波のエネルギーは約32倍になります。マグニチュードが2増えれば約1,000倍になります。

Q8 世界で最も深い「海溝（海洋プレートが沈み込んでいる場所）」は、何海溝ですか？

答え：③ マリアナ海溝

→ 北緯11度21分、東経142度12分に位置し、海溝の最深部は水面下10,911mといわれています。

解答⑨ 【台風・高潮編】

Q1 台風と呼ばれるのは、最大風速がおおよそ秒速何m以上の熱帯低気圧のことですか？

答え：② 秒速17m以上

→ 熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」といいます。このうち日本近海にあって、最大風速（10分間平均）がおおよそ秒速17m以上のものを「台風」と呼びます。

Q2 台風の目について、正しいのはどれですか？

答え：① 台風の目の中は、風や雨が穏やかなことがある。

→ 台風の風も中心に近づいて速くなるほど外側へ引っ張られる力（遠心力）が強くなります。すると、外側に引っ張られる力が強すぎて、中心に向かって風が吹き込めなくなる部分ができます。この風の入り込めない部分が「台風の目」です。台風の「目」の中では風が弱く、雲がなく晴れていることもあります。

Q3 天気予報のニュース等で聞く「猛烈な風」とは、秒速何mの風のことですか？

答え：③ 秒速30m以上

やや強い風	秒速10m～秒速15m（一般道路の車の速さ） 風に向かって歩きにくく、傘がさせない。
強い風	秒速15m～秒速20m（一般道路の速い車の速さ） 風に向かって歩けなくなり、転倒することもある。
非常に強い風	秒速20m～秒速30m（高速道路の車の速さ） 何かにつかまっていないと立てない。
猛烈な風	秒速30m以上（特急列車の速さ） 屋根が飛ばされたり、住宅が倒壊することもある。

Q4 天気予報のニュース等で聞く「超大型（非常に大きい）の台風」とは、どんな台風ですか？

答え：③ 強風域（風速15m/s以上）の半径が約800km以上の台風

→ 超大型（非常に大きい）の台風とは、本州が全部入る大きさです。「大型（大きい）の台風」は、強風域（風速15m/s以上）の半径が約500km～約800kmの台風です。例えば、「超大型で非常に強い台風」とは、強風域の

半径が 800 km 以上で、中心付近の最大風速が 44m/s～53m/s の台風ということになります。

Q5 台風の説明で、正しいのはどれですか？

答え：① 台風が最も発生する海域は、赤道付近～北緯20度である。

- 赤道付近～北緯約20度の海域が、他の海水温度より高いので雲が多くなり、台風が発生しやすくなります。台風は低気圧ですが、前線を伴うことはありません。

Q6 台風の名前は、どのようにして付けるのですか？

答え：③ あらかじめ決まっている。

- 気象庁では毎年1月1日以後、最も早く発生した台風を第1号とし、以後台風の発生順に番号を付けています。各国から構成される台風委員会（14か国加盟）が準備している名前140個（各国が14個提出）を発生順に順番に付けています。日本は、「テンビン」「ヤギ」など星座を由来にした名前を提出しています。航海のとき、星座を目印にしたことからです。

Q7 台風が日本列島に上陸しなかった年がありますか？

答え：② 2000年は台風が上陸しなかった。

- 上陸しなかった年は、84年、86年、2000年の3回あります（1951年以降）。「台風が上陸した。」とは、台風が中心が本州、北海道、九州、四国の海岸線に達した場合をいいます。小さい島や半島を横切って、短時間で再び海上に出る場合は「通過」といいます。

Q8 1年を通じて高潮が発生しやすい時期は、いつですか？

答え：③ 9月

- 9月頃は、1年を通じて一番平均潮位が高くなる時期です。台風も多い時期なので、高潮の被害には十分気を付けます。



解答⑩

【避難行動編】

Q1 非常用備蓄品は、最低何日分用意しておけばよいですか？

答え：② 3日分

- 災害で、ライフライン（電気、通信、道路など）が影響を受けたとき、復旧するまで約3日間といわれていますので、3日分の食料を準備します。ただし、南海トラフ巨大地震対策での国の「防災基本計画（平成26年3月）」では、家庭の備蓄は「1週間以上の水や食料の備蓄が必要」といわれているので、1週間の蓄えがあると安心です。

Q2 一人の人間が一日に必要な飲料水は、どれぐらいの量ですか？

答え：① 3L

- 一日に2L～3L必要といわれています。非常用備蓄品等を準備するときは、 $(3L) \times (\text{人数分})$ の水を準備しておきます。

Q3 山中にいるときに地震が発生したら、どうしますか？

答え：③ 急な斜面から離れるよう横に移動する。

- 土砂崩れや土石流、雪山だと雪崩に巻き込まれる危険があります。急な斜面からすぐ離れ、横方向へ逃げます。川を下って土砂が流れてくるので、下流には逃げてはいけません。



Q4 歩道橋を歩いているときに地震が発生したら、どうしますか？

答え：③ その場に座って手すりや柵をつかみ、揺れが収まってから降りる。

- 地震が発生したら、すぐに歩道橋から離れます。ただし、揺れが大きい場合等は、こけたり落下する危険があるので、揺れが収まるのを待って避難します。慌てて、飛び降りたりすると、ケガをして動けなくなることもあるので、しっかり状況を確認し、どちらに避難する方が安心か判断して行動します。

Q5 車に乗っているときに地震が発生したら、どうしますか？

答え：③ 車を左側に止めて、情報収集を行う。

- すぐに左側に停車し、キーを付けたままドアをロックしないで、車内に連絡先等のメモを残し、貴重品をもって徒歩で避難します。車で移動すると、交通渋滞や事故の危険があります。

Q6 地下街にいるときに地震が発生したら、どうしますか？

答え：① 慌てて動かず、落ち着いて様子を見る。

- 出入り口や非常口等から地上に出ますが、慌てて非常口等に向かうと混雑して危険です。警備員等の指示に従い、落ち着いて行動します。地下街は耐震強度が高めに設計されていることも多いので、慌てないようにします。

Q7 大地震が発生したときは、安全な場所に避難することが大切です。次の中で、一番安全な避難場所はどこですか？

答え：① ガソリンスタンド

- ガソリンスタンドは、壁も床もコンクリートで厚く覆われていて、地震や火災に強い施設です。

Q8 「東日本大震災」のとき、連絡がとりやすかった通信手段はどれですか？

答え：② 電子メール

- 災害時は、固定電話や携帯電話は、なかなかつながりませんでした。東日本大震災のときは、インターネット回線を利用したメールやSNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）等が有効でした。災害時に備え、複数の連絡手段を準備しておくことが大切です。



解答⑪ 【防災一般編】

Q1 山口県内の土砂災害警戒区域は、全国的に見て多いですか？

答え：① 多い

- 山口県の土砂災害警戒区域等の指定状況は、都道府県別に見ても、とても多いです。土砂災害の原因になる大雨が降れば、県内どこでも土砂災害が発生する恐れがあります。日頃から土砂災害のハザードマップ等で危険箇所や避難場所を確認したり、大雨や雨が長く続いたときは、気象情報や県の砂防部局と気象台が共同で発表する「土砂災害警戒情報」を確認したりします。

Q2 土石流は、大量の土・石・砂などが長雨や集中豪雨などによる大量の水と混じり合っ、ものすごい勢いで流れてくるものです。土石流は、どのくらいのスピードで流れてきますか？

答え：③ 車の速さ

- 時速 40 km～50 kmの速さで流れてきます。

落石注意！！



Q3 砂防ダムの役割は何ですか？

答え：① 土石流から町を守る。

- 砂防ダムとは、水を貯めないダムです。大雨のときに、たくさんの土砂が流れてくる被害を防ぐためのものです。

Q4 「南海トラフ」を震源とする巨大地震が発生したとき、山口県にはどのような影響があると想定されていますか？

答え：③ 最大震度6強、3.8mの津波あり。

- 山口県地震・津波防災対策検討委員会の被害想定では、「南海トラフ」を震源とする巨大地震が発生すると、発生から約2時間で、最大 3.8mの津波が瀬戸内海沿岸に到達すると想定されています。

Q5 陸に上がった津波の速さは、どれくらいですか？

答え：② 1秒間に約10m進む。

→ 津波は海が深いほど早く伝わります。沖合（水深 5,000m）では飛行機と同じくらいのスピード（時速 800 km）です。水深が浅くなるほど津波の速度は遅くなるので、陸に近づくにつれて後から来る波が前の津波に追いつき、波が高くなります。陸に上がった津波の速さも、オリンピックの短距離走選手なみの速さで押し寄せてきますので、津波を確認してから避難を始めると、避難しきれず津波に襲われる危険があります。

Q6 「竜巻」について、正しいのはどれですか？

答え：① 積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい渦巻

Q7 気象庁は、「竜巻注意情報」を竜巻発生の可能性の高い何時間前に発表しますか？

答え：③ 約0～1時間前

→ 「竜巻注意情報」は、0～1時間前に竜巻が発生する恐れが迫ったときに発表され、今まさに竜巻の発生しやすい気象状況となっていることを知らせるものです。気象庁は、「半日～1日程度前」では、「竜巻などの激しい突風の恐れ」と明記して注意（気象情報）を呼びかけています。「数時間前」では、落雷、ひょう等とともに、「竜巻」も明記して「雷注意報」を発表します。

Q8 日本での竜巻の発生は、年間どれくらいですか？

答え：② 約25件

→ 竜巻は、年間25件（2007年～2014年 海上竜巻を除く）発生しています。特に、沿岸部で多く竜巻は多く発生していますが、内陸部でも発生しています。



解答⑫

【防災一般編】

Q1 「防災の日」は、何月何日ですか？

答え：③ 9月1日

→ 10万人を超える死者・行方不明者を出した関東大震災（大正12年9月1日）にちなんで、昭和35年に定められました。

Q2 「ライフライン」とは、どういう意味ですか？

答え：② 電気、ガス、水道など、生活するのに不可欠なもの

→ 人々の生活の基盤になるものです。

Q3 「阪神・淡路大震災」の発生から1か月間、被災地で活動したボランティアの人数は、1日当たり約何人だったでしょうか？

答え：③ 約2万人

→ 1か月間（1月17日～2月17日）で、62万人がボランティア活動に参加しました。主に、避難所・待機場所の経営支援や、物資搬出入の支援、地域活動への参加です。この年は、「ボランティア元年」といわれています。

Q4 阪神・大震災では、3万人以上の人々が、がれきの下などから救助されました。その中で、家族や地域の人々の協力によって救助された人は、何人いますか？

答え：③ 約2万4千人

→ 阪神・淡路大震災では、がれきの下などから救助された人の中で、約8割の人が家族や地域の人々から救出されました。このことを教訓に、自分たちの地域は自分たちで守る「自主防災組織」の結成が全国で進むようになりました。日頃から、地域の人々とコミュニケーションをしっかりとっておくことや、地域で行われる防災活動等にも積極的に参加することが大切です。



Q5 消防署の地図記号は、どれですか？

答え：① ヲ

- 「さす股」を表しています。江戸時代の町火消がさす股を使って、延焼中の家屋を倒し、延焼を防止していました。⊗は警察署、㊦は郵便局の地図記号です。

Q6 火災に巻き込まれたとき、ビニール袋はどのように使えばよいですか？

答え：③ 煙の中ではビニール内で呼吸する。

- 低い位置できれいな空気を入れておき、煙が充満している所ではビニール内で呼吸して煙を吸わないようにします。吐く息にも酸素が含まれているので、ある程度の時間、呼吸することができます。

Q7 消火器がないときに天ぷら油の火を消す方法として、間違っているのはどれですか？

答え：① 水をかける。

- 天ぷら油に火がついたとき、一番危険なことは水をかけることです。かえって火が大きくなり、まわりの物に火が移ったり、やけどをしたりします。鍋のふたをかぶせる等、空気を遮断して消火活動を行います。

Q8 消火器の使用期限は、一般的に何年ですか？

答え：② 5年

- 消防法では、製造後5年で薬剤交換することとあります。日頃から上下逆さまにして薬剤がサラサラしているか、音等で確認しておきます。一般の住宅には、設置・点検義務はありませんが、万が一の火事に備えて設置しておくことが望ましいです。

